

## 青森で生きる未来人財育成事業 ボランティアチーム養成講座【第2回】

6月12日(日)14:00~15:00 県総合社会教育センターより配信 受講者146名

### 1 趣旨

高校生を、地域で行われる子どものための活動に派遣して異年齢交流を図り、自己肯定感や主体性を高めることを目指す事業である。

### 2 内容 【講義】「異年齢交流」

NPO法人日本人財発掘育成協会 理事長 坂本徹氏



### 3 講義要旨

- 今日のボランティアについて、「異年齢交流がなぜ必要なのか」、「学生団体レスタに学ぶボランティアの形」の二つの視点から考えてみましょう。
- 高校生にとって、親や先生といった縦とのつながり、友達との横のつながりとは違う「ナナメの関係」による異年齢交流が必要なのです。
- 学生団体レスタの実践例から、主体的に参画しようとする意識をもち、実際に行動に移してみましょう。そして、自分自身の成長に繋げましょう。

### 4 アンケート結果から

受講結果に満足	80%	どちらかと言えば不満	1%
どちらかと言えば満足	19%	不満	0%

#### (受講者の感想)

- 異年齢交流について知ることができ、同じ年の人とだけでなく年下や年上の人と交流することで自分のコミュニケーション力が上がり、大人から教わるできないような人間関係を構築する術が身に付くのだということが分かりました。自分自身もナナメの関係性を大切にしていこうと思いました。
- 自分たちだけで考えることが出来たという、坂本先生が子供の頃体験なさったコミュニケーションや、レスタが行っているような生き活きとした活動を見て、私ももっと社会に参画して行動しなければならないと思いました。
- 真のボランティアとは何なのかを今回の講座で学ぶことができました。ボランティアを行うために、コミュニケーション能力や積極性、対応力など色々な能力が求められる中で、今の自分に何が足りないのか考え直すこともできたので良かったです。
- 失われつつある創造力や工夫力などを、ボランティア活動を通してどう学び・どう活かすかのプロセスを知ることができたので良かったです。
- ボランティア活動の5原則を初めて知り、これはボランティアだけでなく普段の活動にも役立てられることを学ぶことができました。また、昭和の空き地で行われていた異年齢交流はとても大切なことだと思いました。今はそれが無いからボランティアなどの活動に参加し、様々な価値感に触れて自分自身を成長させていくというのはとても素晴らしいことだと感じました。

第2回の講座では、「ナナメの関係」をキーワードに、ボランティア活動と自分自身の成長について関連付けながらの講義でした。また、「学生団体レスタ」の実際の取り組み紹介は、受講者のボランティア活動に対するイメージが広がり、今後のボランティア活動への意欲付けに繋がるような講座となりました。